

伝統行事を体験

1月10日、五穀豊穡と無病息災を願う「七草と鳥追い」を大山公民館で行いました。

七草の講師は大山自然観察会指導員の鷲見寛幸さん。七草のなかでも「セリ」は、「冷たい水の中で育っているのので食べると体が温かくなり、風邪をひかなくなる」と話されました。

説明を聞いてから七草摘みに出発。公民館周辺でセリ、ナズナ、ハコベラの3種類を摘むことができました。

七草摘みのあとは鳥追いです。鳥追いの歌は、その土地

によって微妙に違いがあります。

今回は唐王地区に伝わる「唐土の鳥が日本の土地に渡らぬ先にセリやナズナや川の端のフキたちや七草そろえてハンジヨウホイホイ」の歌詞を唐王の小原康正さんから教わり、五穀豊穡と無病息災を願いながら歌いました。

最後に地域のボランティアの方が七草粥を作ってください、参加者全員でいただきました。



▶それぞれが混じる中、頑張りました



▶すりこぎとしゃもじでたたきながら歌います

「また大山に行きたい！」

大山町・嘉手納町
人材育成交流事業

1月27日から30日まで3泊4日の日程で、沖縄県嘉手納町から、16人の児童が交流のため大山町にやってきました。

両町の交流は、それぞれが国体のソフトボール会場となったことをきっかけに、地域の将来を担う人材の育成を目的として毎年行っているものです。

昭和63年冬から数えて26回目の受け入れとなる今回は嘉手納町訪問団の希望もあり、大山町内での酪農体験学習や小学校交流、スキー体験などを行いました。

特に今回初めての試みと



▶名和小学校でエイサーを披露

なった酪農体験では、町内の酪農家「ファーム山下」を訪問し、牛へのエサやりや子牛への授乳を体験しました。牛を実際に触った子どもたちは、「大きくてびっくりした」「たくさん飼われていてすごいと思った」など、大山町内の産業の一つを体感しました。

3日目はスキー体験。ホームステイ先の児童も参加し、遠景まで見渡せる絶好のコンディションのなか、大山ホワイトリゾートでのスキーを楽しみました。スキーはほとん



▲「八の字のままがんばってー」

どの児童が初めてで、コツをつかもうと一生懸命でした。その結果、全員が上手に滑ることができるようになりました。

また、滞在中は町内の小学校5年生児童の家庭に宿泊し、家族とのふれあいを通して「こたつでの団らん」など大山町の生活習慣も体験し、交流を深めました。

別れの日、子どもたちは「また会おうね」と今夏の嘉手納町での再会を約束しました。